

次回は焼き芋体験を予定しています

10/2

子育て支援施設こもれびでさつまいも掘りを実施

地名の子育て支援施設こもれびにおいてさつまいも掘り体験が行われました。

6月のはじめに施設内の畑に植え付けたさつまいもが収穫の時期を迎え、利用者や近隣の方など20人ほどが集まって収穫を行いました。

子どもたちは保護者と一緒に長く伸びたつるを引っ張り、地面から出てくる真っ赤なさつまいもに歓声を上げていました。

保護者の板倉重矢さんは「子どもに土いじりや栽培の体験をさせることができて良かった」と感想を語りました。



●収穫したさつまいもは11月に焼き芋にするそうです

農家民宿の目玉料理を開発

9/25

かわねグリーンツーリズム・農家民宿おもてなしメニュー講習会

上長尾の生活改善センターにおいて、今年から販売開始される「ゆず粉」を活用した料理の講習会が開催され、町内の農家民宿などから17人が参加しました。

今回はかわね来風と志太榛原農林事務所の共催で、「ふじのくにマエストロシェフ」に認定されたフレンチシェフの石川光博氏が講師となり、地元食材を使用した料理を提案。

石川シェフは「地元にある色々な良さを食べ物を通じて発信してもらいたい」と思いを語りました。



●今回はゆず粉を活用した4品の試作と試食が行われました

動画
de
広報

10/4

災害時のケアを学んだ講習会

川根本町赤十字奉仕団が講習会を実施

山村開発センター会議室において川根本町赤十字奉仕団の講習会が実施され、町内の会員32人が参加しました。

「災害時高齢者生活支援講習」として、日本赤十字静岡県支部より派遣された脇田朱己講師による、「避難所生活で発生しやすい高齢者の心と体の問題とそのケア」についての講習をはじめ、リラクスマッサージといった実技指導が行われました。

町奉仕団の佐藤京子委員長は「今回の内容を避難所で行えれば喜んでもらえると思う。普段の生活でも使えそう」と感想を語りました。



●毛布で作る防寒着（ガウン）の実習を行う受講者

9/26

かわね ICT クラブは毎週水曜日開催

地域 ICT クラブ プログラミング講座が始まりました



●タブレットでプログラムを作る児童とメンター

地域 ICT クラブのプログラミング講座がスタートし、初回の会場となった山村開発センターには参加者となる児童と町民の方々を中心としたメンター（指導者・助言者）に加え、保護者など50人ほどが集まりました。

最初に講座で使用する機材についての説明を受けた参加者は、それぞれが興味のあるものを選び、思い思いに楽しみながらプログラミングを学びました。

講座の様子を見た保護者の方々は「子どもがこんなに楽しそうにやるとは思わなかった。これなら続けられそう」などと語っていました。

茶茗館に響く音色

10/6

第16回 秋の夜長を楽しむ会開催

フォーレなかかわね茶茗館において、川根四季の会主催の音楽会「秋の夜長を楽しむ会」が開催され、町内外から100人ほどの参加者が集まりました。

島田の大祭りなどでお囃子をしている「囃響会」の演奏のほか、町内の方による「傘踊り」や「お話」、「マンドリン演奏」といった演目が披露されたほか、プロの津軽三味線奏者である「高橋竹堂」氏による演奏が行われ、参加者は様々な音色に耳を傾けていました。



●三味線のほか尺八や胡弓の演奏も行われました

川根本町のファンを作るおもてなし

9/30

おもてなしの心を伝える「コミュニケーション講座」開催

今回の講座は交流人口の満足度向上を目指してエコティかわねが主催したもので、フリーアナウンサーの「神田えり子」氏を講師に迎え、町内から25人が参加しました。

「滑舌と発声の練習」「言いたいことをまとめて相手に伝える」「相手の質問から真意をくみ取るための会話を続ける話術」の3つを柱として実技を中心に講義が行われました。

神田氏は講義のまとめとして「相手に満足してもらえる会話がリピーターにつながるおもてなしになる」と語りました。



●講師からインタビュー術の指導を受ける参加者